

－ 休職→異動→復職 －

4校目でもバリバリ行くぞ！という意気込みで始まった新しい学校生活。
しかし、異動して3か月が過ぎようとしていた頃のことです。
急な頭痛と発熱があり、咳が止まらなくなりました。
暑い時期だったので、「熱中症か？」くらいにしか思っていませんでした。
しかし、全く収まる気配が無く、いつものかかりつけ医へ。

「うちでは対応できないから、紹介状を書くからこの病院へ行って。」

そう言われました。紹介された病院は、地域医療支援病院と言われる、私の住む地域で一番大きな病院でした。そこで様々な検査が始まります。

そしてさらに・・・

「紹介状を書くからこの病院へ行ってください。」

へ？！俺どうなっちゃってるの？？

行った先は、県内で最も大きな大学病院でした。
そこでも検査が始まります。背中にストロー大の針を刺す検査も2回やりました。

結果は、簡単に言うと血液のがんでした。
血液が身体の中で正常に作れなくなる病気です。
10万人に1人の珍しい病気だそうです。原因不明、治療方法なし。
このまま進行すれば骨髄移植しかないとのこと。

このような状況になってしまい、仕事は休職することになりました。

休職することによって、たくさんの方に迷惑をかけました。
特に、クラスの生徒たちには申し訳ない気持ちでいっぱいです・・・

治療方法がないので良くなることはなく、血液の値は悪くなる一方です。
しかし、休職して約半年、一筋の光が見えてきました。
悪くなりながらも、薬でコントロールできている状態にあることが分かったのです。

これからも血液と骨髄の検査は死ぬまで続きます。
幸か不幸か、この病気、治療法はないのですが、すぐに命を取られることもないとのこと。
病気とうまく付き合っていかなければなりません。

最大のリスクは、脳梗塞や心筋梗塞のような血管が詰まることと、それと相反して血管が破れやすくなっているの、すぐに内出血を起こしたり、けがをして出血すると血が止まらなくなったりすること。それらで命を落とすことは十二分にあるそうです。

先日もちょっとした不注意で、はさみで人差し指の付け根をほんのちょっと、1ミリくらい切ってしまいました。血が止まるまで丸一日かかりました。

「ああ、正常じゃないんだな」

と改めて感じました。

この病気の禁忌事項は、お酒、タバコ、過労、ストレス・・・

好きなお酒もタバコもやめざるを得ません。命がかかっていますからね。

(でも時々はちょっとだけいいかな・・・笑)

そんなこんなで半年間、病気療養のために休職していたのですが、なんとか社会復帰しても良いという許可が出て、平成31年度の4月から復職することになりました。

復職に際して、いろいろな方々の計らいもあり、前任校へ異動した上での復職となりました。

たった1年、いや、実際には1学期間しか見られなかった自分のクラス。

心残りもたくさんあります。何よりも、途中で投げ出してしまったような形になってしまい、申し訳ない気持ちでいっぱいです。役立たずの担任で、本当に申し訳ない・・・

どうか許してね・・・

また、元いた学校に異動します。

病気とうまく付き合いながら、休職しないで済むように、死なないように、与えられた命を生徒のために使っていきたいと思います。

気づけば桜の季節。

世の中にたえて桜のなかりせば春の心はのどけからまし

(現代語訳:世の中にもし全く桜がなければ春の心はどんなにかのどかだろうに)

在原業平の桜を賛美する歌。

桜があるから心が惑わされてしまう。いつ咲くかな?風雨で散らないかな?って。

だから桜がなければ春は穏やかなのにね。それだけ桜は素晴らしい魅力的な花なんだよ、という気持ちの歌です。

私も桜のように美しく咲きたい。

それがあと何年続くかは分かりませんが、命ある限り、桜のように咲き誇りたい・・・

みんなも、桜のように魅力的な美しい花を咲かせ続けてください。

1年間(実際には1学期間)という短い間でしたが、みんなに出会えてよかった。ありがとう。